

報道機関各位

お知らせ

富士山大沢川源頭域でスラッシュ雪崩発生

1. 概要

本日（3月14日）、午前5時30分頃、富士山大沢川源頭域の調査工事現場（標高約2,100m）に設置してある監視カメラで、スラッシュ雪崩の発生を確認しましたのでお知らせします。

大沢川源頭域の下流側・大滝（標高約1,500m）に設置してある監視カメラの状況からは特に異常は確認はできませんので、スラッシュ雪崩は上流部で停止したものと思われませんが、今後も富士砂防事務所では監視を続けます。

なお、その後（正午現在）新たなスラッシュ雪崩の発生は確認していません。

・・・スラッシュ雪崩とは・・・

富士山周辺で発生するスラッシュ雪崩は、雪代（ゆきしろ）とも呼ばれ、大量の水を含んだ雪が流動する現象で、流下の途中で土砂を巻き込みながら土石流となり、また下流域への到達距離が非常に長くなることもあり、古くから恐れられています。平成19年3月25日にもスラッシュ雪崩が発生し、富士山スカイライン周辺では被害が発生しています。

2. 気象の状況

- ・大宮雨量観測所（富士砂防事務所：標高190m）の降水量
85 mm（降り始め13日14:00～14日8:00までの累加雨量）
- ・富士山頂の気温
4.8℃上昇（13日の日平均-11.3℃と、14日10時までの平均-6.5℃の差）

3. 映像提供

- ・監視カメラの映像を富士砂防事務所HPに掲載します。
<http://www.fujisabo.go.jp/db/db-kisya/090314.html>

4. 配布先

富士市記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士吉田市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 富士砂防事務所 調査・品質確保課長 永井健二

（携帯：090-1560-3443）

電話：0544-27-5387（直通）